

令和7年度 和歌山県自治会連合会との県政懇談会（要望・回答）

要望①（有田川の河川整備等について）

有田川の河川整備につきましては、堤防整備、浚渫及び立木伐採と年々改修が進み改善が図られていますが、未だ河川内には、土砂の堆積あるいは立木が目立つ状況でございます。

令和5年6月の豪雨により、市内一円に浸水被害をもたらしたような災害を未然に予防するためにも浚渫や立木伐採を実施し、河川断面の狭まりを無くし川の流れが阻害される状況を少なくするのが大切であると考えております。また、堤防からの立木も目立つようになってきており、堤防の安定性を損なうことのないよう早期の改善をお願い申しあげます。

回答

洪水時の河川水位を下げるため、今年度も引き続き、保田大橋付近や宮原橋から有田東大橋付近において、河道掘削や樹木伐採を予定しています。

今後も現地状況を注視しながら適切な維持管理に努めます。

要望②（有田市内県道等の早期整備促進について）

県道有田港線につきましては、一部拡幅工事が完成した区間もございますが、依然として交通事故に至るヒヤリハットが度々確認されており、問屋橋から西側約200mの狭隘区間の拡幅工事を行うことにより、更なる交通事故防止が図られると考えておりますので、早期の改善をよろしくお願い申しあげます。

回答

県道有田港線の問屋橋から西側約200m区間については、南側は港湾区域と河川区域の重複区域となっており、南側への道路拡幅は困難であると考えます。一方、北側への拡幅については、人家が連担しており、用地の協力が得られるのであれば、市とも相談しながら現道対策について検討していきます。